

宇陀市室生の「むろう地すべり見楽館」を活用し 奈良県砂防ボランティアと合同で出前講座を開催しました

奈良県 県土マネジメント部 砂防・災害対策課・奈良県砂防ボランティア協会

令和5年7月11日（火）、大規模な地すべり区域である宇陀市室生の「むろう地すべり見楽館」を活用し、同市立榛原西小学校の4年生を対象に出前講座および地すべり対策事業の見学会を実施しました。

本講座は奈良県砂防ボランティア協会と合同で実施し、前半の土砂災害防止に関する出前講座を砂防・災害対策課が担当、後半の「むろう地すべり見楽館」および屋外展示の見学を砂防ボランティア協会が担当しました。

児童たちは講座や解説を通して、身近に存在する大規模な地すべり地区や地すべり事業、土砂災害からの効果的な避難について理解を深めたようでした。以下、実施の様様をお伝えします。

1. 講座の概要

■日時：令和5年7月11日（火）

10:50～11:45

■内容

☆出前講座（砂防・災害対策課）

- ・土砂災害警戒区域等の概要説明
- ・室生地区の土砂災害警戒区域等の状況
- ・気象情報や避難所等、避難に役立つ情報の解説

■場所：室生地すべり見楽館（出前講座、対策事業説明）

室生公園あさぎりの里（対策事業見学）

☆見楽館および屋外展示の見学

（奈良県砂防ボランティア協会）

- ・地すべり対策事業の解説（映像、ジオラマ等使用）
- ・抑止杭、集水井の現物確認 など

2. 当日の様様と受講者の感想



【砂防・災害対策課による出前講座】



【砂防ボランティアが対策事業を解説】



【地すべり対策工事との力比べ】



【集水井の現物を確認】

○ハザードマップを見ることが大事だと思った。講座はクイズや図を使ってくれたので分かりやすかった。

○土砂崩れには3つの種類があり、それぞれ前触れがあること。目の前で土砂崩れが起きたら横に逃げることを教えてもらった。

○土砂災害を防いでいる集水井や杭があることを知った。見学を通して、色々な人によって土砂災害が防がれていることを知った。

○時間をかけて土砂災害防止に関する詳しい資料を作っていただき、子どもたちの学びが深まったように思う。（教師）